

工事における入札不調等回避に資する取組について

当機構においては、入札不調等回避を主な目的として、公募案件へ参加しやすい環境の整備として、下記のとおり各種取組を試行実施しています。

ご参照の上、当機構の発注する公募案件への参加をご検討ください。

記

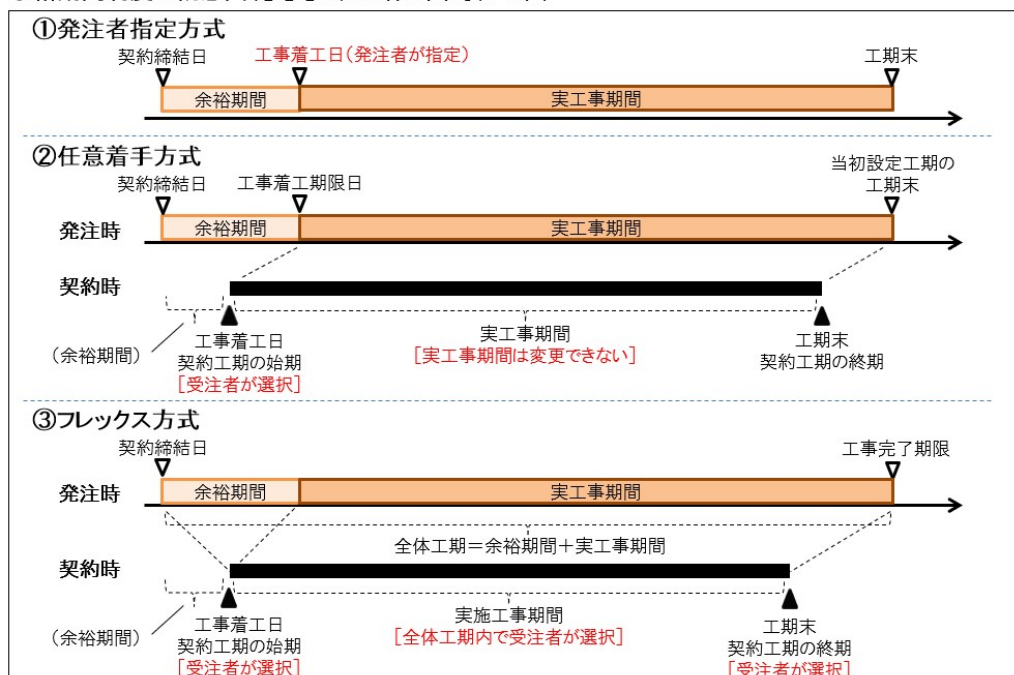
1 余裕期間制度を用いた契約方式〔令和3年10月～実施中〕

契約締結日の翌日から工事の始期（工事着工日）までの間に余裕期間を設定して発注し、工事の始期（工事着工日）もしくは終期（工期末）を機構が指定、または、受注者が選択できる制度で、以下の①～③の方式があります。

本方式を適用する工事調達については、適用対象である旨入札公告等に明示しております。

- ① 発注者指定方式：機構が工事の始期（工事着工日）をあらかじめ指定する方式
【従来の「余裕期間付き発注者指定工期による契約方式」を改称】
- ② 任意着手方式：機構があらかじめ示した工事着工期限日までの間で、受注者が工事の始期（工事着工日）を選択できる方式
【従来の「フレックス工期による契約方式」を改称】
- ③ フレックス方式：機構があらかじめ示した全体工期（余裕期間と実工事期間を合わせた期間）内で、受注者が工期の始期（工事着工日）と終期（工期末）を選択できる方式

余裕期間制度の概念図(①②③の方式名は改称後の呼称)



2 工事発注見通し情報の公表事項の追加 [平成27年5月～実施中]

毎年度4、7、11、2月に公表する工事発注の見通し情報に加え、入札・契約方法や時期、参加資格要件、工事施工箇所等より詳細な予定情報を追加公表するものです。

追加公表については、当機構ホームページ（※）においてご覧いただけます。

※UR都市機構について>入札・契約情報>各支社等の発注情報>発注予定等>お知らせ

3 成績評定非評価型の総合評価方式 [平成28年1月～実施中（保全工事に限ります）]

総合評価の評価項目の一部については、当機構における同種工事の成績評定点に代え、公共工事発注機関の同種工事の実績件数・金額に基づき評価するタイプになります（次ページの表参照）。

本方式を適用する工事調達については、適用対象である旨入札公告等に明示しております。

・表 通常のタイプとの比較（変更のある部分のみ記載）

	通常	成績評定非評価型
企業の実績	過去3年間の機構の同種工事における工事成績評定点の平均点	<u>過去3年間の公共工事発注機関における同種工事の実績件数</u>
予定配置技術者の実績	過去3年間の機構の同種工事における工事成績評定点の平均点	<u>過去3年間の公共工事発注機関における同種工事の実績金額</u>

■上記取組の採用については、個別案件毎に、公募資料において具体的に明示しております。お問い合わせがある場合は、当該公募資料（入札公告等）記載のお問い合わせ先までお願いいたします。

以 上